

『動物寄生虫病学 四訂版』（2019, 朝倉書店刊）の正誤表

第1刷

場所	誤	正
p.25, 右段, 下から18行目	ELSIA 法	ELISA 法
p.88, 左段, 1.1節12行目	Fasciolididae (蛭状吸虫科)	Fasciolidae (蛭状吸虫科)
p.89, 左段, 表III.1, 6行目	Family Fasciolididae 蛭状吸虫科	Family Fasciolidae 蛭状吸虫科
p.95, 右段, 「原因」の行	蛭状吸虫科 (Fasciolididae)	蛭状吸虫科 (Fasciolidae)
p.342, 左段, あ行, 28行目	後睾吸虫科	削除 (正しい読みはコウコウキュウチュウカ)
p.344, 中段, 「こ」の9行目	後期門目	後氣門目
p.352, 右段, 上から17行目	cohort Gamasina	Gamasina (cohort を削除し, g の項目へ移動)
p.353, 右段, 下から6行目	<i>Fasciola sp</i>	<i>Fasciola</i> (sp を削除)
p.353, 右段, 下から5行目	Fasciolididae	Fasciolidae

第2刷

場所	誤	正
p.21 右側「2.5 ヒストモナス」7行目	Parabalia	Parabasalia
p.44 表II.16, 2行目	<i>I. canis, I. ohioensis, I. felis, I. rivolta</i>	<i>C. canis, C. ohioensis, C. felis, C. rivolta</i>
p.78 図II.70	<i>B. caballi</i>	<i>B. caballi</i>
p.91 左側「1.2 生態と発育」7行目	小蓋	小蓋 (<i>operculum</i>)
p.107 左側「1.8 肺吸虫症」4行目	<i>P. miyazaki</i>	<i>P. skrjabini miyazakii</i>

p.108 右側「(3)宮崎肺吸虫」	<i>Paragonimus miyazakii</i>	<i>Paragonimus skrjabini miyazakii</i>
p.108 右側「発育と感染」	喀痰	喀痰
p.110, 図 III.47 左	卵黄腺	メーリス腺
p.130 図 III.82	幼虫被殻の矢印の位置	下図に修正
p.141, 右段, ①縮小条虫の行	成虫は 20~60 mm で,...	成虫は 20~60 cm におよび,...
p.143, 左下から 2 行目	1 組の	2 組の
p.212 図 III.223	豚の胆管に迷入した回虫 (犬)	豚の胆管に迷入した豚回虫
p.225 左下から 1 行目	帯黄色	淡黄色
p.259, 左上から 14 行目	雄 15~33 mm, 雌 12~30 mm	雄 12~30 mm, 雌 15~33 mm
p.284, 右下から 14 行目	トリサシダニ <i>Ornithonyssus sylvialum</i>	トリサシダニ <i>Ornithonyssus sylviarum</i>
p.299 左下から 9 行目	第 1、第 2、第 4 脚	雄は第 1、第 2、第 3 脚, 雌は第 1、第 2、第 4 脚
p.322 左「2.5 アブ, サシバエ, シラミバエ」4 行目	いずれも成虫が雌雄ともに吸血して	サシバエ, シラミバエは雌雄ともに吸血して



図 III.82 テニア属条虫の虫卵 [原図: 板垣 匡]

以上